

# 2023 年春学期/ノーステキサス大学 帰国生アンケート

※注意※ ここで記載されているアンケート回答は**全て個人の主観によるもの**であり、あくまで『参考情報』としてみなさんに開示しています。**正しい情報とは限りません**ので、その点について了承した上で留学準備に活用してください。

## 1. 授業について

### 授業の形態や進め方はどんなものでしたか。

1コマ100分でライティングとコミュニケーションの2つの授業が週に5日ある。クラスは最初のクラス分けテストで決まり、レベル1~6まである。ライティングはエッセイを書くのと並行して基本の文法から復習する。コミュニケーションはグループワークが基本で、毎回3.4人の小さなグループで座る。コミュニケーションと言ってもスピーキングだけでなく、リスニングやリーディングの練習もする。

基本的にグループワークやペアワークが多かったです。

少人数の講義形式の授業でした。グループワークが多く、自身の意見をしっかり持ち、積極的に話さないと授業に参加出来ない様に感じました。毎授業で宿題が出され、やらないと次の授業内容を理解できませんでした。

授業形態は基本10~15人の少人数クラスで行い、先生一人または補助の先生が入るときもありました。生徒と先生は互いにいい関係を築き先生は最低限の指示を出しグループを作り、3、4人の生徒同士で英語で英語を使い意見を聞いたり話し合いを行った。

リーディング、文法、リスニング、プレゼンテーション、ディスカッション、ライティングを学んだ。レベルが分かれており、セメスターの終わりのテストでレベルが再編される。

100分授業でペアやグループになって受けることが多かった。リーディングやリスニングなど基礎的なことをやり、会話をすることが多かった。

### クラス人数、日本人と留学生比率、留学生の出身国などについて教えてください。

韓国、中国、台湾、タイ、ベトナム、サウジアラビア、スペイン、フランスなど。アジアが多いので、馴染みやすい。

クラス人数は20人弱くらいで日本人は五分の一ほどでした。韓国、台湾、タイ、ベネズエラ、パレスチナ、サウジアラビア、中国などの国から来ていました。

レベル毎にクラス人数は異なりますが、私が居たクラスは10人ほどで、比較的少なかったです。生徒の出身は多種多様で、フランス、アフリカ、台湾、韓国等が多かったです。

10~15人のクラスに日本人は2人、アジア圏(韓国、中国、タイ、インドネシア、サウジアラビア)やメキシコ、エクアドル、アフリカ圏からきている学生がいた。

14人中2人が日本人だった。メキシコ、韓国、サウジアラビア、中国、台湾、タイ。

日本人を含め約15人で授業を受けていました。私のクラスは日本人3人、韓国人や台湾人、中国人、パレスチナ人など様々な国の生徒がいました。

### クラスの雰囲気はどんなものでしたか。

アットホームな雰囲気、発言しやすい。ライティングもコミュニケーションも、グループワークやアクティビティが多く、自然とクラスメイトと話す機会がある。日本の大学とは違って携帯には厳しく、先生によっては授業前に携帯を回収する。

授業中にみんなでゲームをすることが多かったので毎日にぎやかでした。

生徒と教師の距離感が近く、分からない事があると発言して教師に直接聞く生徒が殆どでした。日本と比べると明らかに会話がが多く、時々授業中でも生徒と教師が世間話をする事もありました。会話が多い分クラスの雰囲気は明るい印象がありました。

生徒の発言がとても多かった、自分の答えが間違っていた場合うやむやにせずになぜこの答えが違うのかを先生にすぐに聞いていた。

外大の必修英語の授業の雰囲気と似ているが、先生が積極的に生徒に答えを発表させたり、他の国の人と答えを共有したりする時間が多かった。基本授業はペアワークなので他の国の友達ができやすかった。

|                          |
|--------------------------|
| ラフな感じで楽しかった。             |
| 日本と比べて、発言をする生徒がたくさんいました。 |

| 授業の中で取り上げられたトピックで印象に残っているものは何ですか。  |
|--|
| 文化と愛と関係、音楽が人間に与える影響  |
| fast fashion について  |
| 音楽です。各々の出身地で流行っている音楽を他の生徒と共有し合ったのは、お互いの距離を深める良い機会にもなり、会話する事で知らない単語や隠語を知る事が出来たので印象に残りました。 |
| 私は人種差別のトピックが印象に残った。実際に黒人差別が起こったアメリカで文献を読んだり、先生の話を知ったり、人種差別で扱われる新しい英単語を学ぶことに面白いと感じた。      |
| デジタルイズ   |
| ファストファッションについて   |

| 授業を受けるにあたって工夫していたこと、努力していたことはなんですか。  |
|--|
| 授業後部屋に帰って必ず授業内容を復習する。わからないことがあれば、そのままにせず友人や先生に質問する。自分なりの解釈を日本語でアウトプットしてみる。   |
| 授業で分からないことがあったら日本の友達に頼るのではなく積極的に先生やクラスメイトと英語でコミュニケーションをとるようにしていました。  |
| 宿題をするだけでなく内容も理解する事、次の授業に向けて予習をする事を習慣にしていました。努力をしたのは積極的に授業中の会話に参加する事です。学期終盤では円滑に会話する事が出来ていましたが、序盤では英語で会話する事の慣れ、ミスする事への恐れから積極的に会話する事は課題になりました。       |
| 授業を受けるときは日本人同士で隣に座ることなく、次第にクラスに慣れたころには意見をはっきり発言するように心がけた。  |
| 授業では自分の意見を口に出すことを心がけた。自分が英語が喋れないから喋らないのではなく、自分がわかる程度の英単語で相手に自分の考えを表現することを工夫した。さらに、授業終わりには図書館に韓国人の友達と集まって分からないところを教えあったり、課題を一緒にやる中で英語で英語を教える環境を作った。 |
| 聞き手じゃなくて、話し手になるように意識した。  |
| わからないことがあるとクラスメイトや先生に質問して、できるだけ早くに解決するようにしていました。   |

## 2. 滞在先・自由時間の過ごし方について

| ルームメイトはいましたか。 | ルームメイトはどこの国の人でしたか。 |
|---------------|--------------------|
| 1人 (7人)       | アメリカ (7人)          |

| 通学手段    | 通学時間       | 主に食事はどこでとっていましたか。 |
|---------|------------|-------------------|
| 徒歩 (7人) | 0-15分 (7人) | 大学内のカフェテリア (7人)   |

| 部屋に用意してあったものは何ですか。 | 自分で用意したものは何ですか。          |
|--------------------|--------------------------|
| 布団、クローゼット、机、椅子、タンス | 枕、シーツ、トイレトペーパー、ハンガー、掃除用具 |
| 布団、枕カバー            | 枕                        |

|  |   |
|--|---|
| ベッド(シーツ、布団含む)、シャワーと風呂(隣人と共有)、机と椅子、棚、クローゼット、洗面台 | 枕、日用品(ティッシュ、トイレトペーパー、風呂用具等)             |
| ベッド、シーツ、布団、机、洗面台、シャワー                          | 枕、シャンプー、ボディソープ、                         |
| ベット、ベットシーツ、掛け布団、机、椅子、枕カバー                      | 枕、ラグ、ハンドソープ、食器用洗剤、スポンジ、ゴミ袋、バスタオル、防寒具、毛布 |
| ベット、机、寝具、クローゼット                                | 枕、ハンガー                                  |
| 机、椅子、ベッド、クローゼット。                               | 生活用品                                    |

#### 寮生活をする上で、日本と違って戸惑ったこと、驚いたこと。

乾燥機から洗濯物を取るのを忘れていると、なくなっていた。部屋に虫がいたので寮のスタッフに報告したが、誰も来てくれず、自分で対処した。1階にある共用の冷蔵庫に飲み物を入れておくと、全て取られてしまった。湯船はなく、小さいシャワーだけだった。

共同キッチンの冷蔵庫に物を入れるときは必ず名前を書かなければいけません。なぜなら、アメリカでは名前が書いていない物はみんなで食べてよいという考え方なので、そこは日本との文化の違いだと思います。

風呂とトイレが隣人と共用であった事、電子レンジ、冷蔵庫、洗濯機が共用で一階にあった事、ビリヤードがあった事、コンドームが配られた事  
シャワーのみしか部屋についておらず、お風呂がなかった。

バスタブがなく、シャワーしかない。部屋の温度は自分で調節できない。24時間寮に出入りできる。部屋の壁が薄い。部屋に電子レンジと冷蔵庫がない。ベットの位置が高いところにある。洗濯物は全て乾燥機にかける。

ルームメイトが電気を夜になってもつけなかったこと。

#### 寮生活を快適に過ごすためのアドバイスをお願いします。

スリッパではなく、外でも履けるような楽なサンダルを用意しておく。コンセントが勉強机やベッドの近くにないこともあるので、延長コードを持っていく。空調が自分で調節できない可能性もあるので、体温調節できる部屋着を持っていく。

寮によってはエアコンの温度を調節できないところもあるので自分で温度調節ができるようになにか羽織るものや毛布があればいいと思います。

寮の人達と仲良くなる事

ルームメイトがいるなら仲良くしたり、もしルームメイトと合わない場合は寮のアシスタントに部屋の変更を申し込むことができ、部屋を変更することもできるかもしれないので、何かあればすぐにも話だけでもするべき。

ルームメイトと友達になる。ルールをあらかじめ聞いておく。自分の生活リズムを作る。基本部屋は寒いので防寒具を持参する。部屋のベットが高い位置にあるので、ラグをひく。

問題があれば我慢や遠慮をせず、ルームメイトに伝えて解決すること。

| パソコンは持参しましたか | 携帯電話              | インターネットは部屋から接続可能でしたか。 | その際に費用はかかりましたか。 |
|--------------|-------------------|-----------------------|-----------------|
| はい(9人)       | 日本からSIMカードを持参(5人) | ワイヤレスで可能(5人)          | いいえ(0人)         |
| いいえ(0人)      | 日本の携帯をそのまま持参(1人)  | LANケーブルで可能(1人)        |                 |

| 大学主催のプログラム/イベント/ボランティア/サークルなど。              | 学内/学校近辺でよく利用した施設やお店など             |
|---|-----------------------------------|
| IELIの先生たちが様々なところに連れて行ってくれる機会があったので参加していました。 | 基本的に放課後はIELIの友達と一緒に図書館で過ごしていました。  |
| 学校主催の遠足に参加したり、スピーキングパートナーとスピーキングの           | 学校近くの大学内のユニオンと呼ばれる施設をよく利用した。学食とは違 |

|  |   |
|--|---|
| 練習を兼ねた交流会。   | いい、ハンバーガーショップやスターバックスや売店などがあり、自分の食べたいものや軽食を買うことができる。学食はお昼の時間が終わると一旦閉まってしまうので、とても便利だった。  |
| 学校が定期的にパーティーや出掛けるイベントを開催していたので基本的にすべて参加していました。   | 寮の近くにカフェがいくつかあったのでよく利用していました。   |
| 自由時間はジムに行く、ビリヤードをする、コーヒーを飲む、宿題をする事、出掛けるのいずれかをしていました。大学主催の遠足は積極的に参加しました。  | カフェ、図書館です。  |
| 毎週何かしらのイベントが学校で行われていたり、語学学校でもどこか出かけるイベントなどがあった。  | 寮の中にあるビリヤード、卓球台や映画を見られる部屋があり平日はそこで多くの時間を過ごした、休みの日には、友達が車に乗っているということもあり、ゴルフや映画を見に行ったりもした。                                      |
| 私の大学が世界中から生徒がくる大学なので、世界中のお祭りを体験できるイベントがあった。私が参加したイベントはインドのお祭りで、チョークのようなものを投げ合うものや、自分の国の特徴などを紹介するお店を出店するものなどがあった。いろんな国の食べ物が無料で食べられたり、これまで知らなかったことを学ぶのにとってもいい機会になった。 | 車を持っている友達にご飯に連れて行ってもらったり、湖にピクニックに行ったり、ショッピングをしたり、アクティビティをしに行ったりした。一人の時は車がないとなかなか移動が大変なので、歩いて近くのカフェで就職活動の情報を集めたり、企業研究をしたりしていた。 |
| IELI の先生たちが様々なところに連れて行ってくれる機会があったので参加していました。   | バスケットコート、ジム、寮内のビリヤード  |
|  | 基本的に放課後は IELI の友達と一緒に図書館で過ごしていました。  |

### 3. 留学前準備について

| 留学前に取り組んだ準備  |
|--|
| 英語で YouTube の動画や映画を見ていました。                             |
| 文法の復習。リスニングの練習。  |
| スラングの勉強  |
| 日用品の購入、英語の勉強です。  |
| 関西外大にいる留学生と話す練習をしていた。                                  |
| 留学前と留学後の英語力の変化を確かめたかったため TOEFL を受けた、留学に必要な単語を覚える努力をした。 |
| ネットで調べた必需品、便利なもの                                       |
| 英語で YouTube の動画や映画を見ていました。                             |

| 留学前にしておけばよかったと思う準備                |
|-----------------------------------|
| もう少し日本の文化や伝統について知っておくべきだったと感じました。 |
| 日本にいる外国人留学生と交流する。洋画を英語字幕で観る。      |
| 単語の勉強                             |
| アメリカで流行りのドラマや映画、音楽をすればよかった。       |
| 単語だけではなくフレーズをもっと勉強しておくべきだと感じた。    |
| もう少し日本の文化や伝統について知っておくべきだったと感じました。 |

| 日本から持って行って役に立ったもの、または喜ばれたもの   |
|---|
| ハンガー、メイク用品、洗濯用ネット   |
| カップラーメン、レンジでチンするご飯、風邪薬、絆創膏、日焼け止め、サンダル、圧縮袋、折り畳み傘   |
| 日本のお菓子、薬  |
| 服です。奇抜な物だと喜びます。   |
| 日本らしいお土産、扇子   |
| 防寒具(部屋が寒いのでカーディガンなどの羽織るものがあると便利)、スリッパ(部屋でも靴を脱ぐ文化がないためスリッパを履いて過ごすことが多かった)、現金(車がないと生活できないのでタクシーに乗る機会が多いが、割り勘などになると現金が必要になる)、シャーペンの芯(アメリカではシャーペンがあまり使われていないので売っているところが多くない)、抹茶のお菓子(どの国のの人にも喜ばれた)、日本食(大学のカフェテリアが閉まっている時期があった) |
| ショルダーバッグ  |
| ハンガー、メイク用品、洗濯用ネット   |

| 日本から持っていく必要のなかったもの  |
|---|
| ハンガー、大量の服   |
| バスローブ   |
| 大学によりますが、食堂が利用出来る為、食料は必要ありません。ただ長期滞在の場合は日本食が恋しくなる為持っていく事も良いですが、スーツケースが嵩張る事、現地のスーパーマーケット等で購入可能なので、個人的には必要無いと思いました。 |
| ハンガー(乾燥機を使うので必要なかった)  |
| マスク   |

| 日本から持参すればよかったと思ったもの                                       |
|---|
| 文房具の予備、ティッシュ  |
| 折りたためるポット   |
| 寒さ、暑さを調節できる服、一年を通してでも着れるような服                              |
| パスケース(大学でIDカードや部屋の鍵を管理しやすかった)、電子レンジで作れるおかず(ご飯だけでは飽きる時がある) |

#### 4. 留学費用について

| お金をどのように準備しましたか。  | 日本円でいくらぐらい準備しましたか。  |
|---|---|
| クレジットカード2枚、現金   | クレジットカード上限30万、現金10万   |
| クレジットカード、デビットカード、現金   | クレジットカード上限20万円、デビットカード上限なし、現金10万円                                   |
| 現金は500ドル換金して持っていきました。                                       | 2万円持っていきました。  |
| 現金とクレジットカードです。  | クレジットカード上限は月々10万で大丈夫だと思います。ただ旅行する場合は多めに現金を持っていく、又は上限を上げると便利だと感じました。 |
| 出発前に二万円分をドルに変換、デビットカードとマスターカードをもっていった。アメリカでは基本カードで支払いをしていた。 | 現金2万円、カード合計100万円学校の授業料や生活費を含め                                       |
| クレジットカード(2枚)、現金   | クレジットカード30万、現金10万   |
| クレジットカード  | 現金10万円、クレジットカード   |

| 現地で支払った住居費と食費を教えてください。            | テキスト代と通学費はそれぞれいくらぐらいかかりましたか。              |
|-----------------------------------|---|
| 居住費約 50 万円、食費約 13 万円              | テキスト代不明、通学費なし                             |
| カフェテリアの食は10ドルでした。                 | 通学は徒歩だったのでかかっていません。                       |
| 45 万ほどです。                         | テキスト代は学費に含まれていた為、分かりません通学費は徒歩の為掛かりませんでした。 |
| \$1172 居住費、                       | 外大の奨学金を使ったので不明                            |
| 1セメスター住居費10万前後、食費3万程度(レートによって異なる) | テキスト代は分からないが、通学は徒歩だったのでかかっていない。           |
| 100 万ぐらい                          | なし  |
| 約 90 万                            | かかりませんでした。                                |

| 旅行(大学主催以外)をした場合の期間、費用、行先、手配方法など  |
|--|
| 夏休みを利用して、フロリダに2泊3日で行った。ダラス空港から飛行機を利用し、空港までやフロリダに着いてからの観光は全てUberを利用した。  |
| フロリダ、ニューヨーク、ヒューストンは飛行機、オースティンには韓国人の友達が車で連れて行ってくれました。飛行機の値段はその時によって変わります。   |
| 期間は最大で3日、費用は\$300~700、行き先はニューヨーク、フロリダ、オースティン等、手配方法は飛行機とタクシー(Uber)です。   |
| 3週間の休み期間があり、1週間ニューヨークに旅行に行った。飛行機の手配は学校の先生から教えてもらったサイトを経由し手配した。   |
| 学校の休暇を利用して一週間ニューヨークとロサンゼルスに旅行をした。旅費は15万程度でインターネットで予約した。ニューヨークにいた友達とニューヨークで会い、一緒にロサンゼルスに向かった。アメリカにいるのでなかなか日本から行く時間がかかるが、ダラスから両方2時間程度で行くことができるのでとてもいい経験になった。 |
| フロリダ、アウステイン、三日間、3万ぐらい、飛行機。   |
| 2泊3日の旅行に2回行き、どちらも費用は15万ほどでした。  |

| その他旅行や買い物など個人的費用は何にいくらぐらいかかりましたか。 |
|-----------------------------------|
| 旅行に約30万、お土産に約5~6万                 |
| 約20万円                             |
| 旅行の飛行機代は毎回異なっていました。               |
| 30万程度です。                          |
| 35万から40万                          |
| 合計で30万程度かかった。                     |
| 30万ぐらい                            |

## 5. 学習面について

| 語学力・コミュニケーション能力の自己分析   |
|--|
| リスニングスキル   |
| どんな人とも分け隔てなく会話できるコミュニケーション能力があるが、最初の頃は人見知りしてしまい、自分を出すのが苦手。私は話すより聞く方が得意で、相手が話しやすいような雰囲気を作ることができる。 |
| 行くまえよりもスピーキング力とリスニング力が上がりました。  |

|   |
|---|
| 語学力に関しては単語の知識が大幅に増えました。コミュニケーション能力も大幅に上がりました。現地では会話の回数が多い為、コミュニケーション能力の向上には良い機会でした。   |
| 現地の友達と自然な会話をする事で学校で学ぶよりも違った意味でも勉強になり語学力・コミュニケーション能力は向上したと思う。  |
| 英語のコミュニケーション力はネイティブのアメリカ人と二人で一日一緒にいても困らない程度。TOEFL のための力は留学前より確実に上がった。アメリカのテストで80点以上を確実に取れるようになった。さらに、韓国人の友達から韓国語を学び、韓国語で日常会話ができるようになった。 |
| 会話をしたり、ディベートで積極的に喋れるようになった。   |
| リスニングスキル  |

#### 留学前の目標とその達成度

|  |
|--|
| 日本人と固まるのではなく、1日中英語や異文化に触れられる環境に身を置き、語学力と異文化理解力を向上させるというのが留学前の目標だった。前半は日本人だけで固まってしまった時もあるが、前半の終盤に台湾と中国の友人ととても親しくなったり、スピーキングパートナー制度に申し込んだこともあり、後半は目標を達成することができた。 |
| 色々な国の友達をつくることができました。   |
| 英語でのコミュニケーション能力の向上を目標にしていました。結果的に達成出来たと思います。   |
| 留学前よりかは間違いなく上達はしたが、正直なところ、リスニング力はもっと必要だと感じた。学校で話す先生と自然と友達と話すときの話す速さが2倍以上速いように感じる時があり、聞き返す時がたびたびあった。  |
| 留学前は自分から積極的に話すことだったが、英語を完璧に喋ることはできないが自分から話してたくさんの友達を作ることができた。授業でも積極的に発言をすることができ、満足している。  |
| いろんな文化に触れられたし、語学力も上がった。  |
| 日常会話をスムーズに出来るようになることが一つの目標にしており、80%ほど達成できたのではないかと感じます。   |

#### 留学を通しての成長ポイント

|  |
|--|
| 積極性と挑戦力が身についた。もともと引っ込み思案私だったが、留学を通して、自分から声をかけたり積極的に行動しないと新しいことは何もできないと気付かされた。一生懸命話そうとする姿勢さえ伝われば、英語が流暢でなくても伝わるので、失敗を恐れず、やってみようと思った。 |
| 初対面の人と話すときに緊張しなくなった。   |
| 英語で会話する際の会話の流れの作り方、相手の話への反応の仕方が身につきました。  |
| 意見を臆せず話すようになった、英語でも自分の言いたいことを考え伝えられるようになった。  |
| 国の違う人と躊躇なくコミュニケーションが取れるようになった。なかなか日本では自分から勉強するということになかったが、アメリカで英語を学んでから勉強したらした分だけテストで良い点数を取れたので勉強の主観ができたこと。                        |
| 受けてはいたけど、アクティブに喋ったり、授業中でのディベートやペアワークの時でも積極的に喋った。   |
| 行動力  |

#### 留学前/留学中/留学後の語学学習に対するモチベーションの変化

|  |
|--|
| 留学前はとりあえず頑張ろうという漠然とした気持ちだったが、この4ヶ月の留学生活を通して、将来やりたいことが決まったので、語学学習に対するモチベーションが上がった。英語が上手く話せなくて悔しい思いを何回もしたので、その悔しさをバネにもっと話せるようになりたい、もっと話せるようになって仲を深めたいと思った。 |
| 英語を学ぶ楽しさに気付きました。   |
| 留学前と比べると様々な能力を向上させる事ができましたが、現地で生活する為、海外の方々と円滑に会話する為には更なる向上が必要だと感じた為、その課題を克服する為のモチベーションが上昇しました。   |

留学前は楽しみでモチベーションがとても高かった、帰国後も友達といろいろなことをしゃべり違った価値観をもっており考えさせられることが多くあり以前よりも上がった。

これまで、分からないことをそのままにしていたり、校外試験などを受けることはなかったが、自分から申し込んで英語の実力を今より上げたいと思った。

向上心は常にあった。次は違う形で英語を学びに行きたいと思っている。

留学前はネイティブの人たちと話す機会がなく、積極的に人と関わることが少なかったことに比べてアメリカでは私のつたない英語を理解しようと聞いてくれたり、優しく教えてくれたので英語を話すことへの恐怖心がなくなり積極的になることが出来ました。

#### 留学中 100%力を振り絞った瞬間

スピーキングテストのディスカッション。練習時は周りのクラスメイトの発言力や発音の良さ、アイデアに圧倒されてしまい、ただ頷くことしかできなかった。しかし、友人の励ましで、本番は力を振り絞って、初めて自分の意見を大人数の前で発表することができた。

積極的にコミュニケーションする時

1対1での会話です。正確に伝えたい事を英語で話す必要があったからです。

2学期目のコミュニケーションの授業での調べた内容での4分くらいのプレゼンテーションにて

セメスター最後のテストで70点以上取ること。なかなか難しいテストでも習ったところを何回も復習して、応用問題を解いて勉強した。そのおかげで文法力やリーディング力が確実に上がった。

アメリカの友達と遊びに行く時。

授業でのスピーキングテストやプレゼンテーション

#### 留学先大学の良かった点

様々なイベントがあったので、友人を作るきっかけになった。

先生たちがとても優しくかったこと

殆どの人が親切で、会話で文法や単語を間違えた時に理解しようとしてくれた点です。

寮が学校の敷地内にあり通学がとても近かった、学校が毎週何かしらのイベントをうってくれるのであまり退屈せずに生活できた。

さまざまな国から学生が集まる場所。先生が明るく、丁寧に教えてくれるところ。生徒もフレンドリーで図書館も24時間開いていた。

ジムや体育館やビリヤードなどのアミューズメントが多かった。

先生もクラスメートもとてもフレンドリーでした。